

# 破天荒

教宣部

4963号

2013年

11月14日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合



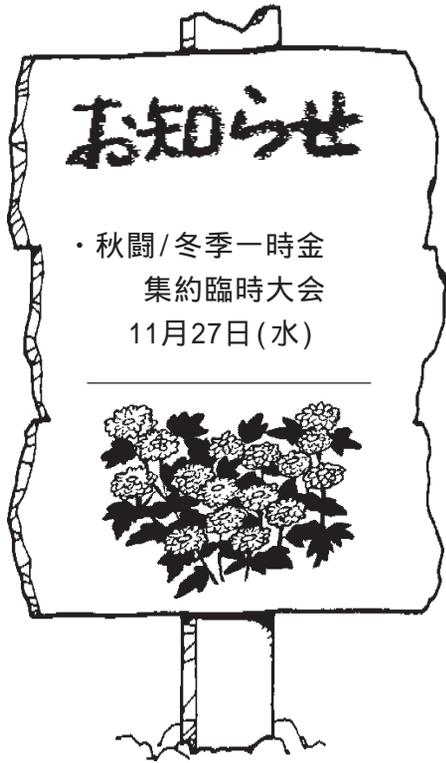
秋闘

# 集約の方向

先日、秋闘にして六回、一時金にして二回目の交渉を重ねましたが相変わらず交渉にもならず、会社は決めた内容を変えずに集約することとしました。せめて展望が見いだせれば春を感じれるのですが冬ですわ。

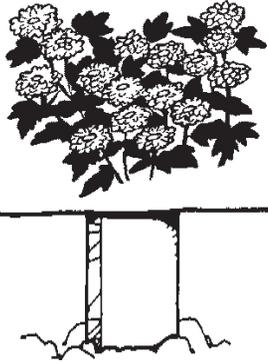
## 一時金

支給日は十二月五日になります。組合員以外の方はこれから各社毎の一人当り経常利益から導かれた式を当てはめた月数をベースに±0.2カ月の月数を査定され、各社の社長がGCに調整に向うことになりました。



## お知らせ

・秋闘/冬季一時金  
集約臨時大会  
11月27日(水)



各社毎の業績でいえばシステムは五年間の内一度しか黒字を出していません。その時に各社業績を導入されたのですが「騙された」と思っている非組合員も居るのかもしれない。これが「各社で競わせて向上を目指す」ということなのでしょう。

電子は今までのやり方が良かった。エンジのやり方が理想だから、エンジン化していくために社内体質を変革・改善していく。その道半ばが今の状況。工業製品と民生品、客先の違いはあっても、エンジン化の方向でというのが経営方針。創業者の精神を受け継いで、大きくなったグループ

経営は大変だと思ふ。創業精神なんて...とか、経営目的...とか、創業当時から時代は大きく変遷しているのだから。研究開発型企業として新しいものを生み出す。センサーという分野で世界一、日本一の商品を作り社会に役立つ。そのため開発に積極果敢に挑戦、先ずトライ、

て完全週休二日制が導入されたそうです。ただでさえ有給消化し難い会社で導入すれば消化率が下がるのは想像に容易いなことです。

## これから

とにかく売上げを伸ばす以外ないそうです。しかし新商品が出なければ、客先での話題にもなりません。竹中三社は新製品を作り続けて今日に到ったわけですが、商社化を進めて新製品を出したところで営業の技術力が伴わないのであれば何の意味もありません。これも各人や部署を競わせて、向上を図るということなのでしょう。

# ポリシーの変化

失敗したり成功したりを良くしとする企業文化、ベンチャー精神を持つ。これは過去のこと。今は事業部を中心とした商社化を進めている。あるべき姿?の推進について。なぜか私は萎えてきている。

夏になると、よく丹後の海に泳ぎに行くのですが、その丹後半島に米軍のXバンドレーダーの配置が予定され、9月19日に丹後市長が正式に受け入れ表明しました。Xバンドレーダーは、米国の「ミサイル防衛」(MD)システムの一部で、アメリカ本土を弾道ミサイル攻撃から守るために配備を進めているレーダー。小型の弾道ミサイル弾頭を探知・追尾するために、7〜12.5GHzと高い(Xバンド)周波数を使用することから発信出力がメガワット(電子レンジが1キロワット、その千倍)給と大きく、その推定探知距離は五千キロといわれています。そもそもこのレーダーは、日本の防衛のためではなく、米軍のミサイル防衛のためのもので、攻撃の目標になりうる危険なものです。また強い電磁波照射しレーダーの前にチヨコレートを置くと、ドロドロに溶け、さながら巨大な電子レンジが置かれた様な状況となり、電波障害や人体への影響が心配されます。

## 京都に米軍基地